

横浜国際高等学校

国際科（国際バカロレアコース）

実施基本計画案

平成29年2月

神奈川県教育委員会

平成28年10月に策定した、横浜国際高校専門学科設置計画に基づき、設置の目的を実現するため、国際バカロレアコースの実施基本計画を定める。

- これまでの外国語によるコミュニケーション能力と情報活用能力の育成にかかる教育を継承・発展させ、国際関係にかかる教育を拠点となる学校に集約することにより、国際教育の深化と充実をめざすとともに、多様な価値観を受容できる力を育む教育を推進するための実践的な研究を行い、その成果を普及する国際科に学科を改編する。
- 国際バカロレア認定校となることにより、国際バカロレア資格の取得可能な国際的教育プログラムを展開する国際バカロレアコースを設置し、自分の力で考え、発信する力、さらには自国の文化への理解を深め、アイデンティティを確立する教育を展開する。
- 国際バカロレア資格取得により海外の大学やスーパーグローバル大学を中心とした国内の大学への円滑な進学を支援し、高大連携の視点に立ち生涯にわたって学び続けるグローバル人材育成をめざす教育を推進する学校づくりを行う。
- 国際バカロレアコースの教育理念を学校全体で共有し教育活動を展開する。

(横浜国際高校専門学科設置計画 設置の目的から抜粋)

1 育みたい生徒像

- 学校全体で、国際バカロレア機構が示す「国際バカロレアの学習者像」を踏まえたグローバル人材の育成をめざす。
 - ◆ 国際化の進展に対応し、国際社会で広く活躍するために、他者と積極的にコミュニケーションを取ることができる生徒
 - ◆ 多様な文化を理解し尊重する精神を身に付け、より平和な世界の構築を目ざし、主体的に行動することのできる生徒
 - ◆ 他者に対する敬意と思いやりを持ち、深い知性、豊かな心と健やかな体をバランスよく備えた共生社会を牽引していく生徒
 - ◆ 課題を多面的・多角的な視点から探究し、理性的・倫理的に判断することのできる思考力・創造力と、困難に挑戦する強い意志を備え、公正な考えと正義感を持って行動する生徒
 - ◆ 主体的な学習を通じて幅広い知識を身に付け、常に自己の成長を促す努力をして、生涯にわたって学び続けることのできる生徒

○ 「国際バカロレアの理念」

国際バカロレア(IB)は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のために、IBは、学校と政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

○ 「国際バカロレアの学習者像」

- ・ 探究する人
- ・ 考える人
- ・ 信念をもつ人
- ・ 思いやりのある人
- ・ バランスのとれた人
- ・ 知識のある人
- ・ コミュニケーションができる人
- ・ 心を開く人
- ・ 挑戦する人
- ・ 振り返りができる人

(文部科学省「国際バカロレア認定のための手引き」から抜粋)

2 国際バカロレアコース設置形態

- | | |
|----------|--|
| (1) 課程 | 単位制による全日制の課程 |
| (2) 学科 | 専門学科 (国際科) |
| (3) 規模 | 国際科国際バカロレアコース
75名 (各年次25名程度)
※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定 |
| (4) 修業年限 | 3年 在学年限は原則として6年 |
| (5) 学期 | 2学期制 |
| (6) 設置年度 | 平成31年度 (予定) |

3 国際バカロレアコース教育課程

(1) 編成の方針

- 高等学校学習指導要領及び国際バカロレア機構の定める教育内容等の条件の双方を満たす教育課程を編成する。

○ 1年次においては、高等学校学習指導要領の定める必修科目を中心に編成し、2、3年次においては、国際バカロレアのカリキュラムに対応した科目（DP科目）を中心に編成する。なお、DP科目を1年次の1月から履修できるよう教育課程を編成することも検討する。

○ 専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。

(2) DP科目

ア 国際バカロレア機構が示すDP科目

6つのグループと3要件		科目
グループ 1	言語と文学 (母国語)	日本語A：文学、日本語A：言語と文学、文学と演劇
グループ 2	言語習得 (外国語)	English B、初級語学、古典語学
グループ 3	個人と社会	ビジネス、経済、地理、グローバル政治、歴史、心理学、環境システムと社会、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、社会・文化人類学、世界の宗教
グループ 4	理科	生物、化学、物理、デザインテクノロジー、環境システムと社会、コンピューター科学、スポーツ・運動・健康科学
グループ 5	数学	数学スタディーズ、数学、発展数学
グループ 6	芸術又は選択科目	音楽、美術、演劇、ダンス、フィルム、文学と演劇
コア（3要件）		課題論文（EE）、知の理論（TOK）、 創造性・活動・奉仕（CAS）

○ : 平成32年度横浜国際高等学校国際バカロレアコースでの開講予定科目等 ○ : 設置を検討中

・EE (Extended Essay 課題論文)

履修科目に関連した研究分野について個人研究に取り組み、成果を4,000語（日本語の場合は8,000字）の論文にまとめるもの。

・TOK (Theory of Knowledge 知の理論)

「知識の本質」について考え、知識の構築に関する問いを探究するもの。批判的思考を培い、生徒が自分なりのものの見方や、他人との違いを自覚できるよう促す。

・CAS (Creativity/ Activity/ Service 創造性・活動・奉仕)

創造的思考を伴う芸術などの活動、身体的活動、無報酬での自発的な交流活動といった体験的な学習に取り組むもの。

○ 6つのグループ（教科群）と「コア」と呼ばれる3つの必修要件である「課題論文（EE）」、「知の理論(TOK）」、「創造性・活動・奉仕(CAS)」から成る。

○ 各グループから1科目ずつ選択し、計6科目及びコア（3要件）を2・3年次で履修する。ただし、グループ6（芸術）は他のグループからの科目に代えることもできる。

イ DP科目の使用言語

○ English B 及び数学は英語を使用言語とする。

○ English B 及び数学以外のDP科目における使用言語は日本語を原則とする。

【参考（国際バカロレア教育プログラム）】

PYP (Primary years Programme)	3才～12才対象
MYP (Middle years Programme)	11才～16才対象
DP (Diploma years Programme)	16才～19才対象（2年間） ※高校1年（15・16才）から開始可能
CP (Career-related years Programme)	16才～19才対象 ※職業教育を実施

※横浜国際高等学校国際科国際バカロレアコースはDPを導入する。

(3) 教育の展開

○ 大学教養レベルの高度な学習内容に触れながら、少人数クラスで、教員と生徒、生徒同士がディスカッションなどを行い、自ら課題を見つけ、その課題を多面的・多角的に分析し、解決するなど探究型の授業を展開する。

○ 国際バカロレアの学習者像を踏まえた教育活動を展開する。

○ 国際バカロレアコースの取組による成果を横浜国際高等学校全体で共有するとともに、県立高校・県立中等教育学校全体に発信・普及させる教育を展開する。

4 国際バカロレアコース入学者選抜

(1) 募集人員の規模

○ 横浜国際高等学校国際科国際バカロレアコース
25名程度

(2) 志願資格・選抜のための検査

- 神奈川県公立高等学校全日制の課程の志願資格と同じとする。
- 選抜のための検査は、学力検査、面接及び特色検査とする。

5 施設・設備等

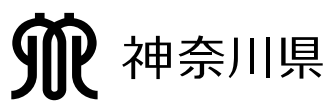
- 国際バカロレアコースの教育の展開に必要な施設・設備を整備する。

6 その他

- 国際バカロレア機構が定める研修を受講したアドミニストレーター（管理職）1名、コーディネーター1名以上を配置する。
- 国際バカロレア機構が定める研修を受講した教員がDP科目の授業を行う。

<認定手続き等予定>

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指定・認定申請準備	候補校 申請手続き	認定校申請・認定校決定 (予定)	
入学者選抜方法等の検討		入学者選抜の実施 (予定)	国際バカロレアコース 1期生入学 (予定)



教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室グローバル人材育成グループ 電話(045)210-8371(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8274・8275